

令和7年度

社会福祉法人 地域精神保健福祉会

グループホーム ファミリーユピュア

地域連携推進会議

令和7年10月30日(木)

鶴巻工芸2F

13:30~15:00

議題

- (1) 小林統括よりご挨拶
- (2) 利用者からグループホーム生活の感想
- (3) 地域連携推進会議とは
- (4) 令和6年度事業報告
- (5) ホーム見学

令和7年度 グループホーム運営委員会 議事録

年月日 令和7年10月30日(木)

時間 13:30~14:30

場所 鶴巻工芸 2F

1・司会挨拶

・地域・各関連機関との連携の観点からもグループホーム運営委員会は重要。これからも地域・各関連機関に向けて発信していきたい。

2・代表挨拶

同法人 鶴巻工芸 統括 小林忍より。

3・利用者からのグループホーム生活の感想

入居されてから現在に至るまでのエピソードを発表。

4・地域連携推進会議とは

管理者 斉藤より。

5・令和6年度事業報告

管理者 斉藤より。

6・その他・質疑応答

・I様より (のぞみ会会長)

夜間緊急時の対応について

連絡網のようなものはあるのか？

↓

世話人が社用携帯電話を持っているので、夜間の対応可。

・Y様より (他 GH 管理者)

3グループホームが統合した理由はなにか？

↓

・統括小林より。

世話人が各ホームに配置されているが、世話人によって特色があり職員の支援の仕方によって差が出るがあった。職員が休むと1つのGHは、お休みになってしまう。担当制を無くし1職員が1棟を見る事を撤廃した。

GHは、どうしても密室になる為、他の職員が何をしているのかが分からない状況で

虐待等をリスクマネジメントの観点から防ぐ効果もある。

理想は、朝1か所に集まりミーティングを行った後、各ホームに派遣され何かあった時には、拠点になるところに集まり話し合いができる環境を作る。

A様より（鶴巻民児協）

GH入居者の中でアルバイト等をしている方はいらっしゃるのか？

↓

GH 斉藤・岩倉より。

成城石井・箱根のホテルで就労している方がいます。

働くことが好きで、生き生きとされている。

参加者お一人ずつ、お言葉をいただく。

統括 小林

GHにとって、夕食時間はゴールデンタイムで、その日一日どうだったか
見ることが出来る貴重な時間、関係各所の方々のご協力お力添えあつての支援。

同法人 大根工芸 多田

心の浮き沈みがある方が多いので、大根工芸でもお話を聞くことをしているが GH
でも傾聴してくださっているので、今後も宜しくお願いします。

S様（伊勢原市役所）

こちらのGHには、3名伊勢原の方がおられるという事から参加させていただいた。
地域の方からしてみると、あの建物は何か？どんな人たちが暮らしているのかな？
という思いもある中で、入居者のできる交流をすることで地域生活がしやすくなる。

Y様（他 GH 管理者）

こういうきっかけを基に、他のGHとも連携していけたらいい。

O様（こころの笑顔 相談員）

食事提供で、他のGHさんは湯煎のところが多く見受けられるが、こちらのGHは手作りの
温かい食事を提供されているところが良い。支援者が近くに居る環境で温かい。

N様（秦野病院）

病院受診に合わせて、GHの方が入浴の促しであったり、声掛けをしてくださっている
ので助かってます。引き続き、連絡・連携していけたらいいと思います。

A 様（鶴巻民児協）

応援させていただきたい気持ちでいっぱいです。

I 様（のぞみ会会長）

生活上、困ったときに「助けて」と言える、支援が受けられる様な子供にしなければ

H 様（ご家族代表）

GH の存在がありがたい。食事がきちんと摂れているので家族（姉）としては安心して
います。

7・グループホーム 見学

3 グループホームを 2 台の社用車に分けて見学。

ファミリーユ I では、空いている居室を見ていただきました。

出席：I 様（のぞみ会会長）、O 様（こころの笑顔 相談員）、A 様（鶴巻民児協）

S 様（伊勢原市役所障害福祉課）N 様（秦野病院）、Y 様（他 GH 管理者）

H 様（ご家族代表） S 様（利用者代表）

同法人 小林忍（法人統括 相談員） 多田裕子（法人理事 大根工芸管理者）